

先輩から⑦「教室の環境整備について」

ここでは、教室の環境整備について述べます。基本となる3つの観点①安全 ②実態に応じた配慮 ③主体的な活動の保障 から、具体的な環境整備について提案します。実際には、一人一人の実態は違いますので、実態に合わせて検討してください。



避難経路は確保されていますか？
外に直接出られる場所を確保しておきましょう。

1日のスケジュールを
文字や写真で掲示する

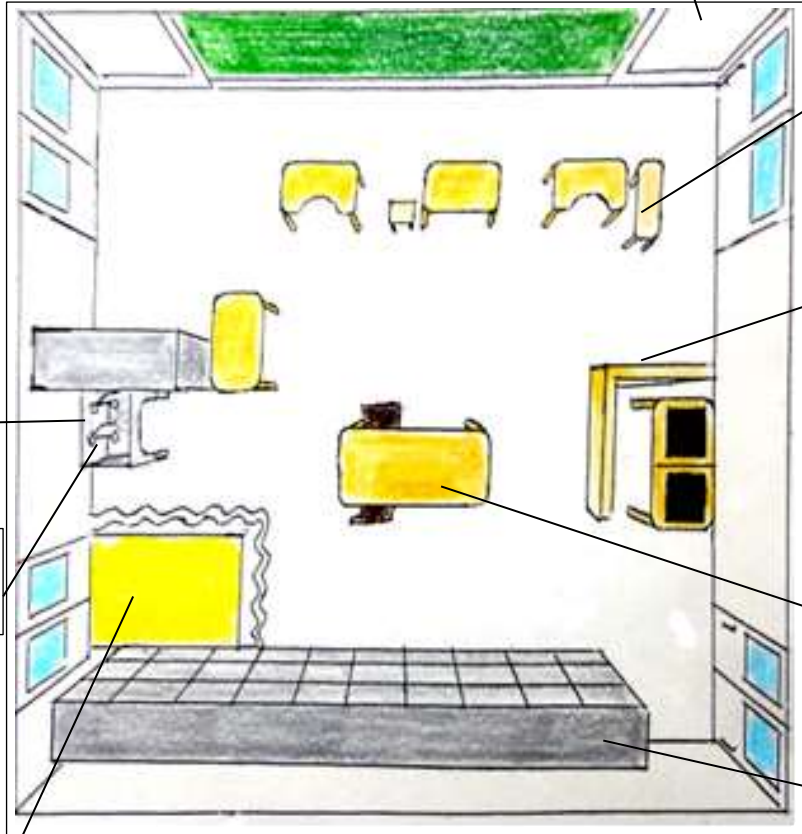


必要に応じて補助機
を使うと、机上が整理
され学習がしやすい。



シンクの下に車
椅子が入るとよ
い。

蛇口の取っ手が
大きいとよい。



ホワイトボードパ
ーテーションも便
利。

書く動作に時間か
かる児童生徒に
は、タブレットの活
用も積極的に。

作業用机。友達と一
緒に活動するとき
に便利。

ロッカーは使いや
すい高さを選ぶ。

床下りできるカーペットか畳の
スペースは、不可欠。車いすか
ら降りて、身体を伸ばして休ん
だり、体操や自立活動でも使え
る。また着替えやオムツ替えの
時のために、カーテンをつけて
おく。



見えにくさ、捉えにくさ（視知覚の困難）はありませんか？
図形を描かせると形がゆがむ、漢字の斜めの線がうまく書
けないなどの様子はありませんか？障害のある児童生徒の
中には、視知覚の困難（線の角度や位置関係の捉えにくさ）
を伴う場合があります。その場合、座席は黒板に対して正
対することが望ましいです。



机の仕様は、こだわってみましょう。姿勢の基本です。

① 座ったとき足はぴったり付いていますか？

② 肘は、無理なく机上にのっていますか？

高さが合わないときは、下にマットを入れるなど工夫ができます。
実態によっては、写真のようなカットテーブルが使いやすいです。
机の中に箱を入れて引き出しのように使うと物を取り出しやすくなります。

